

ふたかみ NEWS プチトマト

トピック
古着市開催
詳細4面

ほまれっこの なつやすみ

ながーいながーい夏休み!!!
今年の夏も楽しい活動が盛りだくさん! プールに壁面づくり、外食に交流会♪
元気な子どもたちのパワーについていきながら職員含めて元気いっぱい夏休み
を満喫しました!



社会福祉法人ふたかみ福祉会
〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264
Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>
発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



夏物品のご協力
ありがとうございました!



自主製品、能登半島地震復興支援物品など、たくさんの商品が詰まった夏の物品販売を行いました♪
協力して下さる団体も増え、たくさんの商品の仕分けにも力が入りました! (田邊と)

8月2日の開所日は
かき氷!



8月2日の開所日にはかき氷をしました。とても暑い日ですが、暑さに負けずかき氷を食べて皆さん元気いっぱいです! かき氷は楽しくてにぎやかになると思っていたのですが、かき氷を食べることに真剣だったのか食堂は静まり返っており、かき氷機の音が響きわたっていました。(大宅)

ふたかみ福祉会後援会主催

秋の古着市

全品100円

11/29(土)
10:00~13:00

※当日の天候等により、時間を変更する場合があります。

翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店横)
売り物: 古着、靴、かばん

子ども服
あります!

バザー物品の提供をお願いします

- * 回収期間: 10/1~10/31
- * 回収対象: 古着・靴・かばん

・成人服と子ども服の分別、段ボールでの提供にご協力いただけますと幸いです。
・いただいた品物の返品はできかねますのであらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】〒583-0841 羽曳野市駒ヶ谷 105 〔法人事務局〕ふたかみ福祉会
TEL (072) 959-3221 FAX (072) 957-2215
受付時間: 月~金 9時~17時 お電話いただければ回収に伺います。

cafe ハピバー

9月の予定

定休日 毎週水曜/日曜
休み 6日(土) 15日(月)
27日(土)

★Instagram★
cafe-hapibar.com



お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

2025年7月

- ・田中美希/奥長靖久/山田恵 . . . 5口
- ・竹田直樹 . . . 4口
- ・加藤紀子 . . . 3口
- ・森和寛/森義彦/戸田奈保/土井ひろ子/南美智/山田広司/超野玲子/宮脇紀子 . . . 1口

■ボランティア . . . 垣内秀夫 様

■アルミ缶回収(7月分) . . . 1004 kg

ありがとうございます

◆2025年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口2,000円 団体費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定をしています。

全国社会就労センター総合研究大会 「より適切な進路選択ができるように」

7月17、18日に全国社会就労センター総合研究大会に参加しました。



社会就労センターは、全国社会福祉協議会により設置運営されている、障がいのある人の社会的就労の実現を目指して、サービス利用者の「働く(就労)・くらす(生活)」の支援を行う全国の事業所で構成されている組織です。ふたかみ福祉会の事業所もその活動に参加する中で、生産した自主製品の販売や、企業・自治体からの委託業務を紹介されてきました。

厚労省担当者から行われた行政説明では、10月より新たに運用開始される「就労選択支援」についてのアナウンスがありました。障害のある人の就労能力、適性を客観的に評価(就労アセスメントを実施)して、本人のニーズに沿った就労先選択を支援するものです。これまで移行支援事業所が行っていたアセスメントの取り組みが福祉サービス体系に一事業種別として

て位置づけられることにより、質の高い本人評価に繋がるのが期待されます。一旦A/B型事業所の利用が始まると、人の持っている可能性に対する見立てが固定されてしまいやすく、本人の立場に立って次のステップを促す支援者がいるかどうかで、職業人生、生き方が大きく左右されてしまう課題が通所事業所には存在しています。

事業所職員は自分が担当する一人ひとりの利用者(なかま)と日々接する中で、なかま本人のその時その場所の姿にフォーカスしています。それが毎日続く中で、捉える本人像は徐々に奥行きを無くして平面になっていきます。それを補正するためのプロセスである定期的なモニタリングやアセスメントが大切になります

が、支援介護事務業務の煩雑化、福祉人材の不足による専門性の低下も相まって、一事業所では個々のケースの支援内容の検討もままならないのが現状です。日中職員は、目の前のなかまの思いや願いをくみ取り見極めようとする姿勢と、本人の発展性を決めつけない柔軟な視座を持つと努力すべきだとは思いますが、限界もあります。第三者の目線で本人の実像を把握して、より適切な進路、取り組みを選択できるようにする

新しい事業に求められるのは大きいと考えます。



(東)

「広げたい、福祉の仕事の輪」

7月12日(土)グランフロント大阪にて、「夢をかなえる福祉のひろば」という社会福祉経営全国会議大阪支部主催の参加型就職イベントが開催されました。「そもそも福祉の仕事ってなんだろう？」ということを皆で考え、グループワークで意見交換を行いました。

今回私は障害分野のリクルーターとして、普段の業務内容やこれまで経験したことのお話をさせていただきました。参加者は学生さんだけではなく、「高齢者施設で働いていたけど障害のことも知りたい」という方や「福祉職は未経験だけど障害者支援の魅力を教えてほしい」という方がいらっしやり、幅広い年齢層の方が福祉職に興味をもって参加され、どなたも熱心に話を聞いてくださったのが嬉しかったです。

大変なことも多い福祉職ですが、社会には欠かせない大切な仕事です。こうしたイベントをきっかけに、福祉の仕事をしように思う人が増えてくれたらいいなと思います。

(経澤)

「ラーメンたべたい♪ ラーメンだいすき♪」



7月31日ソレイユ班のポーナスを使った取り組みで、奈良にある『源隆』へ行きました。回収作業の後に食べる中華は最高◎

事前にメニューを見ながら「ラーメンも食べたいけど、からあげにしようかな」「どれにしようかな」「ラーメンと炒飯セットで」など自分たちの食べたものを迷いながら決めるのも楽しみの一つ!

注文したものが届くと、いい笑顔でアツアツのラーメンをすすする音「美味しいな」と隣のなかまと話している声が響いていました。

ポリウムもありましたが完食「お腹いっぱい」「もう何も食べられん」と言っていた10分後には、デザートソフトクリームやかき氷を堪能されていました。(山田)



「暑い夏はプールで全カリフレッシュ!」

7月は、気温35℃以上の日が多く暑かったですね。そんな中、みんなが楽しみにしていたプールの取り組みを行いました。ひんやり冷たいプールに入り、「冷たくて気持ちいい!」「プール楽しい!」などなかまの笑顔や楽しそうな声が多く見られました。プールが終わった後は、「楽しかった!来年もプール入りしたい!」というなかまの声がたくさんあり、来年も楽しみます。



暑い日でしたが、涼を感じリフレッシュすることができました。また、西浦小学校様と駒ヶ谷小学校様に伺いましては、プールをお貸し頂き誠にありがとうございました。おかげさまで、安全かつ楽しい時間を過ごすことができました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。(阪本)